

### 紐育市ニ於ケル道路通行規則

千九百三年十月八日紐育市はるご、おぶあるたーむノ立法委員會ニ於テ『道路通行規則』ト題セル命令案ヲ討議セリ此ノ命令案ハ千九百三年四月二十八日開會ノ委員會ニ提出セルモノノ訂正案ニシテ十月八日ばるご、おぶ、あるたーむヲ通過シ且ツ第一章第十五條中『南北ニ亘ル道路ニ於テハ必ス道路ノ右側ヲ通行スヘシ』ト改正セラレタル外凡テ市長ノ認許ヲ經タリ此規則ニ於テ尤モ注意スヘキ點ハ『乘客ノ昇降ノ爲メ車輛停止ハ必ス十字街道ニ達スル前ニ於テスヘシ』トアルコトナリトスふるくりん急行汽車會社ノ市街線路ハ千九百四年一月一日ヨリ此規則ヲ實行スル義務アルモノトス

市内鐵道會社いたーあーばん、れーるうゑー會社ノまんはつたん市内線路ニ對シ

テハ千九百四年一月十四日以降有効ナルモノトス

警視廳ハ乘馬通行者ニ關スル規程ヲモ包含シ此新命令案ヲ印刷配布セリ且ツ主要ナル十字街道ニハ通行ノ方向ヲ指示セル記號ヲ掲ケタリ

#### 道路通行ニ關スル命令

##### 第一章 道路通行規程

第一條 車輛ハ右側ニ停メ置クコト、車輛

ハ凡テ右側ニ且ツ右側ノ土止メニ尤モ接

近シテ停メ置クヘシ

第二條 車輛ノ出會、途上他ノ車輛ニ出會

シタル時ニハ各車輛ハ各々他ノ右側ヲ通行スヘシ

第三條 他ノ車輛ニ追及スルトキ、他ノ車

輛ニ追及セルトキハ其ノ車輛ノ右側ニ沿

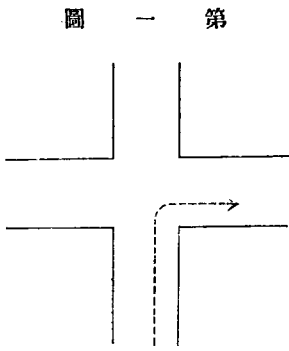
ヒ追ヒ越スヘシ

第四條 御者又ハ車輛ニ對シ責任ヲ負ヘル

者ハ凡テ街角ヲ屈折シ又ハ土止線ヨリ發車シ或ハ土止線ニ停車スル前必ス其動作ニ依リテ他ノ車輛ヲ妨ケツル様充分餘地ノ存スルヤ否ヤヲ確ムヘシ且ツ自己ノ動作ヲ知ラシムルニ充分明瞭ナル信號(視感又ハ聽感ニ依ル)ヲ與フヘシ

第五條 街角ヲ右折スル場合、他ノ街道ニ行カンカ爲メ街角ヲ右折セントスル車輛ハ第一圖ニ示セルカ如ク可及的土止線ニ接近シテ他街道ニ右折スヘシ

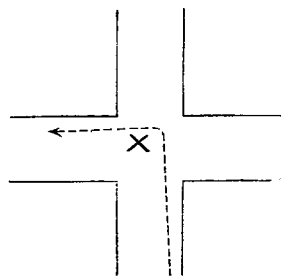
第六條 街角ヲ左折スル場合、他ノ街道ニ



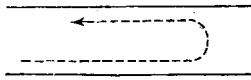
第一圖

行カンカ爲メ街角ヲ左折セントスル車輛ハ第二圖ニ示スカ如ク他ノ街道ニ屈折ス

第二圖



第三圖



ル前街道交叉中心點ノ右側ヲ通り之ヲ過キタル後左折スヘシ

第七條 街道ヲ横キル場合、街道ヲ横キラントスル者ハ第三圖ニ示セルカ如ク街道ノ他ノ側ヲ通行ノ際取ルヘキ方向ヲ取ル便宜ナル様左折シテ横キルヘシ

第八條 土止ニ於ケル停車、凡テノ車輛ハ其左側ヲ土止ノニ沿ハシメ停車スヘカラス

第九條 人道ニ於テ車輛ノ前進背進其他凡テ普通ノ荷車ヲ曳ク人或ハ普通ノ荷車、四輪車及ヒ其他ノ車輛ニ對シ責任ヲ有スル者ニシテ左ノ諸項ニ違ハサルハ不法行爲ナリトス

一、後ニ掲ケタルモノヲ除クノ外『市街』ト稱セラルル範圍内ニ於ケル何レノ街道ノ人道ニ於テモ荷車、四輪車及其他ノ車輛ヲ前進又ハ背進スヘカラス

二、街道ノ交叉又ハ横小路ニ沿フテ通行スル旅行人ヲ遮キリ又ハ障害スル虞アル

様街道ノ交叉又ハ横小路ニ於テ荷車又ハ四輪車其他ノ車輛ヲ停メ置クヘカラス

三、荷積ミ又ハ荷卸シノ爲メニ非ラサレハ市街ト稱セラルル範圍内ニ於ケル街道ヲ横キリテ街道ノ交叉又ハ横路ニ荷車其他ノ車輛ヲ停メ置クヘカラス

但シ如何ナル者ト雖トモ荷積ミ又ハ荷卸ニ必要以上ノ長時間街道ヲ横ギリテ荷車其他ノ車輛ヲ停メ置クヘカラズ併シ土止石ニ接近シテ鐵道ノ布設セラレ有ルカ爲メ其鐵道(如何ナルモノニテモ)ヲ通行スル車輛ニ妨害ヲ與フル虞ナクシテ其店先キノ車道ニ荷車又ハ其他ノ車輛ヲ停メ置キ能ハザル場合ニシテ且ツ其ノ商品貯藏所荷物倉庫其他ノ建築物ノ玄關又ハ店先キト其車輛ノ間ヲ徒歩者ガ通行ス

ルニ充分ナル餘地存スル場合ニ於テハ其商品貯藏所荷物倉庫其他ノ建築物ノ所有者又ハ占有者ハ其業務時間ヲ限り人道ニ於テ其荷車其他ノ車輛ニ必要ナル範圍ノミヲ占領スルコトヲ得

四、如何ナル場合ニ於テモ「廣通ヲ」(ぶろーどうゑゝ)及第五十九番街道以南ノ第五通り(ふいふす、あべにゆ、さうす、おぶ、ふいふち、かいんす、すごりーど)公園通り(ばーく、ろー)ニ於ケル車道ヲ横ギリテ荷車、四輪車其他ノ車輛ヲ停メ置クヘカラス又廣通リ及第五十九番街道以南ノ第五通りニ於テハ土止ニ並行シテ且ツ尤モ接近シアル場合ヲ除クノ外荷車、四輪車其他ノ車輛ヲ止メ置クヘカラス

第十條 現在荷積ミ又ハ荷卸シ中ノモノヲ除クノ外土止メヲ背面トシテ車輛ヲ停メ

置クヘカラス

第十一條 土止線ニ接近シテ停車ノコト、土止線ニ尤モ接近セル場合ヲ除クノ外他ノ車輛(即チ第十六條第十七條第十八條ニ掲ケタル)又ハ徒歩者ヲシテ道ヲ横斷セシムル場合又ハ不時ノ事變ノ際ヲ除クノ外當市ノ公道又ハ大道ニ於テ停車スヘカラス

第十二條 横斷通行ヲ遮キルコト、乗客ノ昇降荷積ミ荷卸シ又ハ不時ノ障害事變又ハ警官ニ依リテ停車ヲ命セラレタル場合ヲ除クノ外市街ノ通行横斷ヲ妨クル様停車スヘカラス

第十三條 凡テノ車輛ハ街道ノ交又個所又ハ街角ヨリノ距離十尺以内ニ停車スヘカラス

第十四條 地表上ヲ進行スル車輛ノ乗客昇降、地表上ヲ進行スル車輛ハ街道ノ交又

ニ達スル手前ニ停車シ乗客ヲ昇降セシム  
ヘシ

第十五條 道路通行權、當市ノ公道又ハ大道ニ於テ南方ヨリ來リテ東方及ヒ北方西方等ニ行カントスル凡テノ車輛ハ北方東方及ヒ南方西方ニ行カントスル車輛ヨリモ先立テテ道路ヲ通行スル權利ヲ有ス

第十六條 特種車輛ノ道路通行權、各種ノ防火器ヲ所持スル消防局官吏人夫又ハ火ノ番巡邏カ火事場ニ往復スル途中又ハ火事場ニ執務中又ハ負傷者運搬車及ヒ警視廳ノ官吏、人夫車輛又ハ後ニ掲ケタル如キ警官ヨリ認許セラレタル醫師ハ合衆國郵便車ヲ追越スコトノ外如何ナル街道ニ於テモ又如何ナル行列ヲモ貫通シテ道路通行權ヲ有ス

警視廳ハ適當ナリト認定セラレタル醫師ニ對シ其申請ニ依リテ第一項記載ノ如キ

道路通行權ヲ附與スルコトヲ得但シ此權利ハ他人ニ讓渡スコトヲ得サルモノトス  
第十八條 速度ノ緩減又ハ停車ニ對スル信號、車輛ガ其速度ヲ緩減シ又ハ停車セントスルトキ之レヲ後方ノ車輛ニ知ラシメシガ爲メ手又ハ鞭ヲ垂直ニ揚ケ信號スヘシ

第十九條 自働車又ハ原動機ヲ裝置セル車輛ヲ驅ル人ハ凡テ頑固ナル馬ニ乘リ又ハ驅ル人或ハ其他ノ家畜ヲ驅ル人ヨリノ請求又ハ垂直ニ手ヲ揚ケ信號セル場合ニハ直チニ其自働車ヲ停車シ且ツ前記ノ如キ馬又ハ家畜ヲ通過セシムルニ必要ナル時間ヲ經過スル迄停車シ居ルヘシ

第二十條 徐行スル車輛、緩速度ノ車輛ハ急速度ノ車輛ヲシテ其左側ニ沿ヒ追越スニ適當ナル様常ニ可及的右側ノ土止線ニ接近シテ進行スヘシ

第二章 速度

第一條 車輛其他運搬器ノ速度、當市ノ街道ヲ通行スル車輛其他運搬器ノ速度ハ左ノ制限ヲ超過スベカラズ

自轉車(二輪車、三輪車、其他ノ自轉車)及原動器ヲ裝置セル車輛ハ尤大速度ノ場合ニ於テモ一時間ニ八哩以内

馬又ハ其他ノ家畜ニ曳カレタル車輛及通行人ハ一時ニ八哩以内

併シ人家稠密ナラザル場所(各建築物ノ距離百呎以上ヲ隔ツル如キ未完全ナル市街)ニ於テ一時間十五哩以内

第二條 前條除外、本章ノ規程ハ消防局又ハ警視廳附屬ノ器具荷車及火ノ番巡邏及負傷者運搬車及市街鐵道ノ修繕用荷車及合衆國ノ郵便車ニハ適用セサルモノナリトス

第三條 超過速度ヲ禁ス、當市ニ於ケル街

道、大通、小路、車馬道ニ於ケル凡テノ車輛其他運搬器ノ乗者、御者其他運搬器ニ對シ責任ヲ有スル者ハ其公道ノ通行、使用ニ對シテ適當ニ且ツ合理的ナル範圍以上ノ又ハ不具者其他ノ人命ヲ害フ虞アル如キ急速度ヲ以テ其車輛ヲ驅ルヘカラス

第四條 街道ニ於ケル横斷又ハ屈折ノ場合ニ於ケル速度南北ニ亘ル凡テノ街道大通ヲ横斷スルトキ或ハ凡テノ街道ニ於テ屈折セントスル時ハ其車輛及其他ノ運搬器ニ對シテ適法ノ速度ノ二分ノ一ヲ超過セサル速度ニ於テ之ヲナスヘシ

第三章 警燈

第一條 特許サレタル二輪車曳キヲ除ク外當市ノ公道又ハ大道ヲ使用スル各車輛其他ノ運搬器ハ日沒一時間後ヨリ日出一時間前ニ至ル間ハ前面及各側面ヨリ見ラルヘキ一個又ハ二個以上ノ燈火ヲ裝置スル

ヲ要ス若シ突出シテ裝置セラレタル警燈  
(だつし、らいご)ノ場合ニハ其車輛左側ニ裝  
置スルヲ要ス

第一項記載ノ燈火ハ前面ニアルモノハ白  
色ニシテ側面ニアルモノハ著色セルモノ  
ニテ且ツ二百呎以上ノ距離ニ於テ見ラル  
ヘキ光輝ヲ有スルモノタルヘシ併シ特許  
サレタル二輪車曳ハ此限ニアラス

各自働車ハ第一項記載ノ時間中ハ二個ノ  
燈火ヲ裝置スヘシ而シテ其一ハ前進方向三  
百呎ノ距離ニ於テ見ラルヘキ白色燈ニシ  
テ他ハ反對ノ方向ヲ照ラスヘキ赤色燈タ  
ルヘシ而シテ其燈火ハ自働車ノ他ノ部分  
ヨリ來ル光線ノ爲メ妨ケラレサル位置ニ  
裝置スヘシぶろん街(ごれもんご)通以南、せ  
ろ街道以東ノ第七十七番街道及ぶろん  
河以南ヲ除ク)及りつちもんごくいん街、及  
ぶるくりん街ノ第二十六番、第三十番、第三

十一番、第三十二番うわーごニ於ケル街道  
ニ於テ進行又ハ停止中ノ車輛及其他運搬  
器ハ其前方及後方三百呎ノ距離ニ於テ明  
カニ見得ル光力ヲ有スル燈火ヲ一個又ハ  
二個以上裝置スルヲ要ス

第二條 條外、但シ本條ノ規程ハ騎者及車  
輛ニ附屬セル馬其他ノ家畜及燈火ノ消滅  
セル又ハ燈火ヲ有セス家ヲ出發セルモノ  
ニシテ一時間六哩ヲ超過セサル步調ヲ取  
リ且ツ三拾呎ヲ通過スル毎ニ一回ノ割合  
ヲ以テ聽感ニ訴フル信號ヲ爲ス自轉車乘  
者(二輪車、三輪車、其他自轉車ヲ含ム)ニ對シ  
テハ此規程ハ適用セス

#### 第四章 街道ノ不適當使用

第一條 二輪自轉車乗者ニハ惰力進行ヲ禁  
ス、二輪自轉車ニ乘リテ其べだるヨリ足  
ヲ放シテ惰力乃チ運動餘力ニ依リテ進行  
スヘカラス

拔 萃

第二條 曲乘ヲ禁ス、街道ニ於テ二輪自轉車ニ乘リ其双手ヲ把柄ヨリ放スヘカラス又曲乘ヲナスヘカラス

第三條 二輪自轉車ニ依リテ小兒運搬ノコト、紐育市内ニ於テハ五歳以下ノ小兒ヲ二輪自轉車ニテ運搬スヘカラス

第四條 御者ノ年齢、特許サレタル車輛ヲ除キ凡テノ車輛其他ノ運搬器ノ責任者ハ特ニ警視廳ノ許可アルニアラサレハ拾六歳以下ノ者タルヘカラス

第五條 車輛ノ後部ニ乗ルコト、御者ノ承諾ナクシテ車ノ後部ニ乗ルヘカラズ且ツ後部ニ乘リタルトキハ其身体ノ一部ヲ車輛ノ範圍以外ニ突出スヘカラス

第六條 貸馬車ヲ驅リ廻スコト、凡テノ貸馬車ハ其使用乗車客ヲ待タンカ爲メば一と、おふ、あるだゝむヨリ指定セラレタル貸馬車停留場以外ノ街道又ハ場所ニ停車

シ置クヘカラス  
又狹キ餘地内ニ於テ其貸馬車ヲ彼方此方ニ驅リ廻シテ強制的ニ使用乗車ヲ勸ムルヘカラス

又劇場旅館公會堂集會所汽車停車場渡船場其他公衆ノ集合スル場所ニ於テノ整頓セル集來退出ヲ妨害スヘカラス

但シ通行運輸ヲ妨クル如キ停車ヲナサス又ハ通行ヲ遮斷スル如キ速度ヲ出ササルニ於テハ其運轉中ニ限り使用乗車ヲ懇請スルコトヲ得且又劇場旅館公會

堂集會所又ハ汽車停車場渡船場其他公衆ノ集合スル場所ノ前ヲ一度通過セル後此等ノ場所ヨリ二丁目先キニ達スル迄屈折又ハ後戻リヲナササル限リハ以

上記載ノ如キ公衆ノ集合スル場所ノ前ヲ往復スルコトヲ得

第五章 人道ノ使用



第一條 人道上ヲ驅ルコト、下ニ掲ゲタル

モノヲ除ク外人道車道ノ區別アル街道ノ  
人道ニ於テ車馬其他ノ運搬器ヲ驅リ後戻  
リ曳キ又ハ停メ置クヘカラス

但シ渡橋ヲ掛ケテ人道ヲ越ヘ荷車其他  
ノ運搬器ヨリ荷物又ハ商品ノ荷積ミ荷  
卸シ又ハ船積ミ船卸シ中ノモノ又ハ荷  
車其他ノ運搬器ノ後部ヲ人道ニ乘リ掛  
ケ以テ荷積ミ荷卸シ船積ミ船卸シ中ニ  
シテ其運搬器ト立關トノ間ニ徒歩者ノ  
通路アル場合ハ此限ニアラス

第二條 二輪車ヲ曳クコト、二輪車乗者ハ  
此レヨリ下車シ人道ヲ曳ク時ハ必ス一列  
タルヘシ又立關石階線以內ニテ且ツ妨ケ  
トナラサル所ニ於テ立チ留リ居ルコトヲ  
得

第三條 人道ニ於テ騎乗ノコト、市ノ郭外  
ニ於テ其街道ノ車道ハ其騎乗物ニ騎乗シ

能ハサル理由アル場合ニハ其人道上ヲ騎  
乗スルコトヲ得

第四條 人道ヲ横斷シテ驅ルコト、本章ニ  
規定シアラサル限リハ私有個所ヨリ車道  
ニ又ハ車道ヨリ私有個所ニ直接人道ヲ横  
キリテ馬又ハ其他ノ運搬器ヲ驅リ又ハ此  
等ニ騎乗スルコトヲ得

第六章 街道使用ニ關スル一般法則  
第一條 當然必要ナル注意、本規則ニ記載  
セラレサルコト又ハ略セラレタル事件ニ  
關シテハ街道ヲ使用シ通行シ又ハ之レニ  
停止シ居ル(如何ナル目的ノ爲メナルモ)人  
ガ他ノ人又ハ運搬器トノ衝突ヨリ起ル災  
害ヲ防キ又ハ避クル様判定解釋シ此レヲ  
取扱フヘキモノトス

第二條 通行ヲ妨クヘカラサルコト、街道  
ノ通行ヲ故意ニ遮キリ又ハ閉塞スル様紐  
育市内ノ街道ニ於テ凡テノ運搬器ヲ停メ

置キ又ハ驅ルヘカラス  
運搬器ハ此レニ備ヘタル一頭又ハ數頭ノ  
馬ガ曳キ能ハサル程過量ニ荷積ミスヘカ  
ラス

第七章 警視廳ノ權能

第一條 警視廳ハ運輸通行ヲ取締ルコト、  
警視廳ハ凡テノ運搬器ノ通行ニ關スルコ  
トヲ司トル權理及義務ヲ有ス

第二條 警視廳ハ此命令カ告示セラレ居ル  
ヤ否ヤヲ點檢ス、警視廳ハ本命令ガ一般  
ノ馬寮及貸馬車一頭馬車荷車等ノ停車場  
ニ公示セラレ居ルヤヲ點檢シ且ツ常ニ此  
命令書ヲ所持シ且ツ其申請ニ依リテ此レ  
ヲ附與スルモノトス

第八章 定 義

第一條 本規則ニ使用セル語句ノ定義、特  
ニ然ラサルコトヲ記載セルモノヲ除外  
此規則ニ使用セラレタル語句ハ常ニ左ニ

掲ケタル如キ意義ヲ有ス而シテ單數ニテ  
用キタルモノハ複數ヲモ含有スルモノト  
ス

一、街道トハ各大通、公道、車道、小車道、小路、横  
小路及運搬器ヲ使用スル爲メニ使用シ  
又ハ其爲メニ造リタル場所ヲ云フ  
一、車道トハ土止又ハ土止線ノ間ニアル街  
道ノ部分ニシテ運搬器ヲ使用シ得ル様  
設計セラレタル街道ノ部分ヲ云フ

一、土止メトハ土止メ石ヲ以テ標示セラレ  
居ルト否トヲ問ハス運搬器ヲ使用スル  
爲メニ設計セラレタル街道ノ部分ノ範  
圍ヲ示ス爲メニ街道兩側ニアル境界ナリ  
一、運搬器トハ如何ナル形式ナルモ又如何  
ナル種類ノ動力ニ依リテ驅ラレ或ハ乘  
セラレ或ハ押サルルトヲ問ハス又遊興  
ノ爲メニ乗ルト乘客荷物商品ヲ運搬ス  
ルトヲ問ハス凡テノ街道ニ於ケル各荷

車、馬車、乘合馬車、轎押車、二輪、自轉車、三輪、自轉車、其他運搬ニ使用スル物、小兒用ノ駕車ヲ除ク、及驅御セラル、ト騎乗セララルト曳導セララルトヲ問ハス、凡テ曳引及騎乗ニ用ユル動物等ヲ云フ

但シ或ル運搬器ニ附隨セル動物ハ其動物ノミヲ以テ一個ノ運搬器ト認メスシテ其運搬器及動物ヲ合セ一個ノ運搬器ト認ム

### 第九章 違犯者ニ對スル處罰

一、違犯者ニ對スル罰金、此規則ヲ犯シタル者ハ違警罪トシテ論ス而シテ長官ハ正當ト認メラル、口供又ハ同類者ノ証明ニ依リテ判決シ一弗以上十弗以下ノ罰金ニ處ス若シ罰金納付ノ義務ヲ怠ルモノハ該長官ニ依リテ十日間以內ノ拘留ニ處セララルモノトス

(完)